

県立の劇団SPAC(スパック)が、中高生を対象にした出張公演を浜松で実施!

SPAC秋→春のシーズン2022-2023 #3 『リチャード二世』

日時: 2023年2月10日(金) 10:30開演(上演時間: 約2時間15分) 会場: 浜松市天竜壬生ホール

平素より、SPAC-静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

SPACでは「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、平日には静岡県内の中学生・高校生を対象とした招待公演を行っています。本作は静岡芸術劇場で10公演を行い、16校約2,164人の中高生が来場予定ですが、2月10日(金)には浜松市天竜壬生ホールにて出張公演を行い、**浜松湖東高等学校・浜松湖北高等学校 佐久間分校の生徒ら287名が来場予定です。**

近年、SPACでは県西部での活動機会も増えています。2022年には『みつばち共和国』を勤労会館Uホールにて上演、また「ふじのくに野外芸術フェスタ in 浜松」での野外劇や、「SPAC演劇アカデミー」特別講習の浜松初開催のほか、学校公演やワークショップなども多数実施しています。

今回の会場となる浜松市天竜壬生ホールでの中高生鑑賞事業は、19年『寿歌』、20年『妖怪の国の与太郎』、21年『みつばち共和国』と毎年上演を重ねています。県内の中高生に本格的な演劇を届ける取り組みにご注目いただくとともに、公演当日のご取材をお願い申し上げます。

作品について 本作は、イングランド王リチャード二世の没落と、のちにヘンリー四世となるヘンリー・ボリングブルックが王座に上り詰めていく様を描いたシェイクスピアの歴史劇です。SPACの実力派の俳優13名が出演し、SPAC俳優としてまた演出家としても活躍目覚ましい寺内亜矢子が演出を務めます。寺内はこの一見難解な戯曲を、感情を煽る言葉がSNS上で幅を利かせ、曖昧な言葉をめぐる忖度が日常に溢れる現代にも通じるものと捉え、若者にこそ観てもらいたいと考えています。進行役の俳優が冒頭で軽妙に登場人物を紹介するなど、作品の世界に入りやすい仕掛けもふんだんに用意しています。



SPAC 中高生鑑賞事業

スペースシップ
「SPACeSHIPげきとも！」

SPACでは静岡県内の中高生を対象とした鑑賞事業を続けています。中高生と引率者の鑑賞料金は無料のうえ、学校から劇場までのバスのチャーター料金をSPACが補助するなど、参加される学校に負担がかからない仕組みになっています。SPAC中高生鑑賞事業は、劇団を有する公立劇場だからこそ可能なプログラムです。世界に通用する上質の演劇作品を、本格的な劇場でご覧いただける画期的な事業として、県内の学校関係者はもとより、広く全国からの注目を集めています。

【アンケートより】…劇場の会場に入ったのも初めてで、すごい音が響いていて、俳優さん達が投げかけたセリフの感情まで、客席に伝わるのが、すごいなと思いました。／雨もりや鉄のようなものがふってくるなどの、ところどころの演出がすごかった。最後の殺されるところも、かげごしにみると、おりの中で本当にさされているようでおどろいた。／リチャード2世がほろびた後、この国はどうなったのかと観劇後に友達と考えました。(1/13に静岡芸術劇場での中高生鑑賞事業公演に来場した生徒の回答より抜粋)



Photo: K.MIURA



Photo: K.MIURA

リチャード二世 [新作]

演出: 寺内亜矢子 / 作: ウィリアム・シェイクスピア / 訳: 小田島雄志
舞台美術デザイン: 深沢襟 / 衣裳デザイン: 清千草 / 照明デザイン: 花輪有紀
出演: 阿部一徳、石井萌水、大高浩一、片岡佐知子、木内琴子、
小長谷勝彦、永井健二、ながいさやこ、本多麻紀、牧山祐大、
宮城嶋遥加、吉植荘一郎、渡辺敬彦

演出家プロフィール 寺内亜矢子(てらうち・あやこ)



©加藤孝

1997年、ク・ナウカ シアターカンパニーにて演劇活動開始。2007年の劇団休止後は、SPACを主な拠点に国内外の舞台に出演するほか、東京藝術大学にて身体表現教育に携わる。俳優・演出・演奏・音楽構成・ドラマトルク・通訳・翻訳等、舞台芸術創作に関わるもろもろを手がける国際派マルチプレイヤー。SPACでの演出作に『おおと ええと ええじゃないか』(ふじのくに野外芸術フェスタ2020 in 掛川)、『忠臣蔵2021』(共同演出)、『三原色』(SPAC演劇アカデミー第1期生成果発表会)などがある。

製作: SPAC-静岡県舞台芸術センター

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

(一財)地域創造

『リチャード二世』に関するお問い合わせや取材のご希望は、

SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当「豊島・坂本」までご連絡下さい。

TEL: 054-203-5730(静岡芸術劇場) / FAX: 054-203-5732 / E-mail: koho@spac.or.jp